



## &lt;来週の資金需給予想とイベント予定&gt;

(単位: 億円)

| 日付       | 資金需給予想  |          |          | 主な要因                       | オペ期日                             | オペスタート        | イベント   |
|----------|---------|----------|----------|----------------------------|----------------------------------|---------------|--|
|          | 銀行券要因   | 財政等要因    | 資金過不足    |                            |                                  |               |  |
| 7/31 (月) | + 600   | + 11,400 | + 12,000 | 国庫短期証券<br>発行・償還 (3M)       | CP等買入 ▲ 1,800<br>国債補充供給 + 46,600 | CP等買入 + 4,000 | 日: 鉱工業生産(6月)<br>: 消費者態度指数(7月)<br>欧: 1-0圏GDP(2Q)<br>: 1-0圏CPI(7月) |
| 8/1 (火)  | + 1,000 | ▲ 30,000 | ▲ 29,000 | 国債発行・償還<br>(2年)            |                                  |               | 日: 有効求人倍率(7月)<br>: 失業率(7月)<br>米: ISM製造業景況指数(7月)                  |
| 8/2 (水)  | + 1,000 | ▲ 80,000 | ▲ 79,000 | 法人税・消費税・保険揚げ<br>国債発行 (10年) | 共通担保 (全店) ▲ 9,000                |               | 日: 日銀金融政策決定会合議事要旨 (6月15・16日<br>開催分)                              |
| 8/3 (木)  | ▲ 1,000 | トン       | ▲ 1,000  |                            |                                  |               | 米: ISM非製造業景況指数(7月)<br>英: 政策金利発表                                  |
| 8/4 (金)  | トン      | ▲ 3,000  | ▲ 3,000  | 物価連動債発行 (10年)              |                                  |               | 米: 雇用統計(7月)  |

## &lt;インターバンク&gt;

日銀当座預金残高は週初24日、前営業日比+8,100億円の538兆3,400億円から始まった。その後は国債の発行や国債買入オペがあったものの大きな変動はなく540兆5,700億円で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初▲0.073%から始まり25日までほぼ横ばい圏で推移した。26日以降は地銀業態の積極的な調達が見られ、週末となる27日においても資金調達ニーズは堅調であったことから、同金利は▲0.059% (速報) まで上昇した。

日銀は27・28日に開催した金融政策決定会合において、長期金利の変動幅を「±0.5%程度」を目標とし、長短金利操作について、より柔軟に運用することを決定したほか、10年物国債金利について1.0%の利回りでの指値オペを明らかに応札が見込まれない場合を除き、毎営業日、実施することを公表した。

ターム物は1~2W物を中心に▲0.070%~▲0.050%程度の水準で出合が見られた。

来週の予定は、国内では8月2日に日銀金融政策決定会合議事要旨 (6月15・16日分) の公表があり、海外では7月31日にユーロ圏GDP (2Q)、8月4日に米雇用統計 (7月) の公表がある。

## &lt;レポ&gt;

足許GCは週を通して▲0.10%~▲0.09%のレンジで推移した。政策決定会合2日目となる28日でも、水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年438~450回債、5年149~159回債、10年350~371回債、20年180~185回債、30年65~79回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

## &lt;CP&gt;

今週の入札発行総額は約2兆1,900億円で、週間償還額 (約2兆4,000億円) を下回った。発行市場は鉄鋼や化学、石油等で月末スタートの大型発行が見られた他、幅広い業態で発行が見られ活況となった。発行残高は先週末時点の27兆4,679億円から27日時点で27兆8,556億円に増加した。発行レートは、0%近辺から小幅なプラス圏での出合いが中心であった。26日にCP等買入オペが予定通り4,000億円でオフアされた。結果は、按分レート0% (前回0.002%)、平均落札レート0.005% (0.011%) と按分レート、平均落札レート共に前回比で低下した。

来週の償還額は約2,200億円となっている。発行市場は、良好な調達環境等を背景に一定の発行ニーズが見込まれるものの、夏季休暇の影響もあり落ち着いたマーケットが予想される。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心となることを予想する。

## &lt;TDB&gt;

27日の3M (1172回債) の入札は、最高落札利回り▲0.0962% (前回債▲0.1042%)、平均落札利回り▲0.1018% (前回債▲0.1210%) となった。

来週は4日に3Mの入札が予定されている。

## [無担保コールレート]

|     | 予想レンジ (%)       |
|-----|-----------------|
| O/N | ▲0.087 ~ 0.001  |
| 1M  | ▲0.060 ~ 0.0100 |
| 2M  | ▲0.040 ~ 0.050  |
| 3M  | 0.000 ~ 0.130   |
| 6M  | 0.000 ~ 0.150   |

## [オープン市場]

|               | 予想レンジ (%)      |
|---------------|----------------|
| 現先<br>(on/1w) | ▲0.050 ~ 0.000 |
| CP 3M         | 0.000 ~ 0.010  |